

# KN グローカルリサーチレポート

2018年12月  
No.32



師走を迎え、日に日に寒さが増しています。クリスマス会や忘年会などで、お酒の機会が増えます。

## 【ワインラベル表示の新ルール】

店頭には新酒が並び始めましたが、「日本ワイン」の表示をご覧になりましたか。今冬よりワインラベルの表示に新しいルールが導入されました。国産のブドウのみを使い、かつ、日本国内で製造されたものは「日本ワイン」と表示できます。浜松で収穫されたブドウを 85%以上使い、浜松で醸造されたものを「浜松ワイン」と表示できます（詳細は、国税庁のホームページをご覧ください）。

新しいルールを参考に、産地やブドウの種類などで、お気に入りのワインリストが作れそうです。



## 【日欧経済連携協定】

今夏に署名された、日本と EU の経済連携協定 (EPA: Economic Partnership Agreement) が来年発効されると（詳細は外務省のホームページをご覧ください）、欧州産ワインにかかる関税が撤廃されます。750ml ボトルで約 90 円前後安くなるようです。欧州産チーズの関税も段階的に下がります。



日本から欧州に輸出される緑茶の関税も、発効と共に撤廃されます。

## 浜松市立の小中学校の普通教室へ冷房設置 24億6,060万円(H30年11月補正予算)

今年の夏も猛暑で、連日、熱中症のニュースが報道された。

文部科学省によると、小中学校・普通教室の冷房設置率の全国平均は 58.0 %で、静岡県は 9.1 %とかなり低くなっている。

浜松市では、普通教室 2,396 室中 364 室に冷房が設置されている（設置率 15.2 %）。これは、航空自衛隊浜松基地の防音対策として、国の防衛予算を活用し、基地周辺の小中学校に設置してきた。

11月の補正予算約 24 億 6 千万円（財源は、国からの臨時特例交付金を約 3 億、残りは市債）で、小学校 30 校（492 教室）と中学校 15 校（203 教室）に設置が決まった。設計や工事監理に約 1 億 5 千万円、空調の設置とキュービクル改修工事に約 23 億 1 千万円を支出する。

■表1 冷房設備設置状況 I（小中学校の普通教室）

高い	%	低い	%
1. 東京都	100.0	1. 北海道	0.3
1. 香川県	100.0	2. 岩手県	1.8
3. 福井県	93.5	3. 秋田県	1.9
4. 群馬県	91.8	4. 青森県	2.8
5. 滋賀県	91.7	5. 長野県	3.6
6. 京都府	90.9	6. 宮城県	4.7
7. 埼玉県	89.7	7. 静岡県	9.1
8. 神奈川県	87.7	8. 長崎県	10.8
9. 大阪府	86.3	9. 新潟県	17.5
10. 沖縄県	82.9	10. 山口県	20.7

文部科学省の調査（H30年9月1日現在）

■表2 同上 II（単位：室数、%）

	保有	設置	設置率
浜松市	2,396	364	15.2
静岡市	1,824	18	1.0
湖西市	236	2	0.8
磐田市	541	15	2.8
豊橋市	1,196	30	2.5
豊川市	599	197	32.9
名古屋市	5,910	5,910	100.0
長泉町	132	132	100.0

## \*\*\*\*\*~~ バンコクの風 ~~\*\*\*\*\*

### 「プラテート クーミー」

タイのiTuneチャートに登場するや、いきなり1位を獲得した曲で、邦題は「俺の国にはあるんだよ」です。

軍事政権の続くタイ、伝統的に上流階級によって行われる汚職。それを批判する歌詞を堂々と歌い上げています。

- ・160万ビュー時点 警察高官がラッパー逮捕するぞと脅す
- ・220万ビュー時点 動画をシェアした奴も逮捕するぞ
- ・2,000万ビュー時点 はあ？逮捕するなんて言っていない  
今は誰でも自由に表現できると高官コメント



高官は「タイ国の評価を下げる内容。けしからん」と言っていました。

日々起きてる事件でタイの評価を本当に下げているのは誰か？

特権階級はいつだって真実に目を向けません。

youtube動画はQRから。設定で日本語字幕を選べます。(バンコク・影山)



## 第10回 浜松国際ピアノコンクール

若手ピアニストの登竜門として世界的に認められるようになった「浜松国際ピアノコンクール」が3年ぶりに先月開催された。11月23日24日のアクトシティ大ホールでの本選には予選を勝ち抜いたファイナリスト6名が、オーケストラと共にピアノ協奏曲を奏でた。

浜松国際ピアノコンクールは1991年に浜松市政80周年を記念して始まり、今回が10回目。楽器メーカーの全面的な協力と多数のボランティアが、19カ国1地域からの88名の出場者と、コンクールの運営を支えた。出場者はホームステイ先や学校などでコンサートを開き、市民と交流した。このような取り組みが評価され、浜松市は、国際機関ユネスコ(UNESCO)により「音楽」の創造都市(Creative City)として認定されている。

また、今回は、このコンクールをモデルにした恩田陸さんの小説「蜜蜂と遠雷」が、昨年、直木賞を受賞したことから、全国的に注目が高まったようだ(「蜜蜂と遠雷」は映画化が決まり2019年秋に公開予定)。

一次予選から本選さらに入賞者披露演奏会までの全演奏者の動画を、一定期間、視聴できる。ピアノを聞きながら「蜜蜂と遠雷」を読んでみたい。



執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士  
(公社)子どもの発達科学研究所 事務局長  
浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org